

部局名	健康福祉部	所属名	健康福祉課	所属長名	樺田 高雄	電 話	483-1151 内線2210
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3114		事務事業名称	福祉センター運営管理事業					短縮コード	経常	3114	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市福祉センターの設置及び管理に関する条例、八千代市福祉センターの設置及び管理に関する施行規則						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
市民の福祉増進を図ることを目的に, 昭和59年3月1日、福祉センターを開設した。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして					
地域福祉推進の拠点として、また市民交流の場としてその重要性は今後 も増してくると予想される。						大項目（節）	02	社会福祉					
						中 項 目	06	地域ぐるみ福祉					
						小項目（施策）	01	人材・団体等の育成と活動支援					
						細 項 目	03	活動拠点の整備					
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	○市民 ○60歳以上市民									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 指定管理者である八千代市社会福祉協議会に管理運営業務を委託し、指定管理者との連絡調整・指導を行いました。									
	※平成19年度に計画していること： 同上									
意図 （何を狙っているのか）	市民相互の交流や地域福祉活動の充実を図るとともに、高齢者の方々には、健康増進・維持を目的に施設を提供する。									
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	自主的・主体的に福祉活動ができるようにする。									
区 分					単位	17年度	18年度		19年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	人口	人	180,480	180,480	182,060	184,000			
	指標2	60歳以上の人口	人	43,177	43,177	43,730	44,000			
	指標3									
活動指標	指標1	開館日数	日	347	347	347	347			
	指標2									
	指標3									
成果指標	指標1	利用者数	人	93,641	99,000	96,251	97,000			
	指標2									
	指標3									
上位成果指標	指標1									
	指標2									
	指標3									

コード		3114		事務事業名称		福祉センター運営管理事業		所属名		健康福祉課	
				単位	1 7 年度	1 8 年度			1 9 年度		
					実績	計画	実績	計画			
事業費 (A)	財源内訳	国		千円			0				
		県		千円			0				
		地方債		千円			0				
		一般財源		千円	34, 783	34, 783	35, 006	37, 154			
		その他		千円							
	主な事業費の内訳			保険料24372円 委託料34757717円		保険料25千円 委託料34758千円		保険料24, 372円 委託料34, 980, 675円		保険料25千円 委託料37, 129千円	
人件費 (B)				千円	2, 181	435. 5	1, 306. 5	871			
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)				千円	36, 964	35, 218. 5	36, 312. 5	38, 025			

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	福祉センターは様々な団体の活動拠点として機能している。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	団体への「場所貸し」は行えているが、人材等の育成を目的とした講習会を行う等、必要な支援が十分に行われているとはいえない。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	市の公的責任のもと公益事業を行っているので民営化はできない。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	事業内容に変更がないため。					
			☐ 見直す必要がある						
			☐ 評価対象外事項						
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	指定管理者の運営次第で有効性も効率性も向上可能。					
			☒ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等	平成18年度の事業実績を評価点検し、その改善点を平成19年度運営に反映させていく。					
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☒ I T化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
			☐ 上記以外の方法						2
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☒ ない						

コード	3114	事務事業名称	福祉センター運営管理事業				所属名	健康福祉課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			PDCAサイクル（計画、実施、点検、処置）を機能させ、事業計画、事業の遂行、実績報告に関し指導を徹底し、翌年度以降への改善へとつなげる。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			同上	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☒	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
特になし。	

所属長コメント	指定管理者に対しては, 市民サービスの向上を目指し, 効率の良い施設運営を求めている。	
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続	積極的に推進すべき。
	☒ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止		
☐ 休止		
☐ 現状のまま継続		